



**(仮称)けいはんな学研都市
新たな都市創造に向けて
中間とりまとめ(素案)の概要**

本書の目的と位置づけ

◆ 「新たな都市創造」の意義

- ① 集積する多様な主体が集積の強みを相互に活用し合うための持続的な「高度な都市運営」の体制を備えた地域を創造(サード・ステージ・プランの視点の発展強化)
- ② これまでにない新たなまちづくりを実現

◆ 本書が主眼とすべきこと

新たな都市創造のビジョンを見据えた上で、「高度な都市運営」の体制及びけいはんな学研都市の概ね10年間の方向を示すもの

◆ 本書の位置づけ

国を始めとする幅広い関係主体の総意のもとに共有

- 国家戦略として推進するけいはんな学研都市の未来に向けたビジョン
- 関係主体相互の連携・協働や個々の主体の具体的な行動の指針

けいはんな学研都市の30年の成果・時代潮流・課題

30年間の取組の成果・評価

基盤整備

- ◆ クラスタ型開発による都市建設が着実に進展
→ 交通アクセスが不十分

総合力

- ◆ 文化学術研究機能の向上、多様な施設立地
- ◆ 新産業創出の取組、実証事業の推進
→ 新産業創出の成果、仕組みは十分とはいえない

交流連携

- ◆ 広域的な交流連携、多様な交流機会創出に取組
→ 拠点間の連携、国際交流の本格的な活動は十分とはいえない

都市運営

- ◆ 高度な都市運営の取組は十分とはいえない

時代潮流 ～世界の動きが急速に加速化～

科学技術
産業経済

- ◆ 持続可能社会に向けた課題の深刻化
- ◆ 経済のグローバル化と科学技術・イノベーションの飛躍的な発展
- ◆ ICTの劇的な進化による「超スマート社会」の到来

国土の経営

- ◆ 超高齢・人口減少社会
- ◆ 「スーパー・メガリージョン」と「ナレッジ・リンク」の形成
- ◆ 地方創生の推進

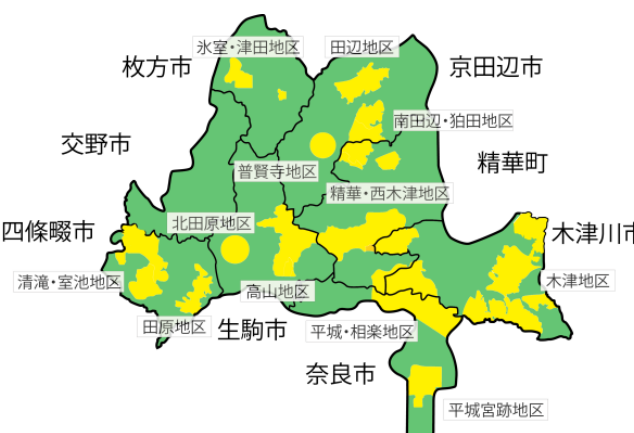
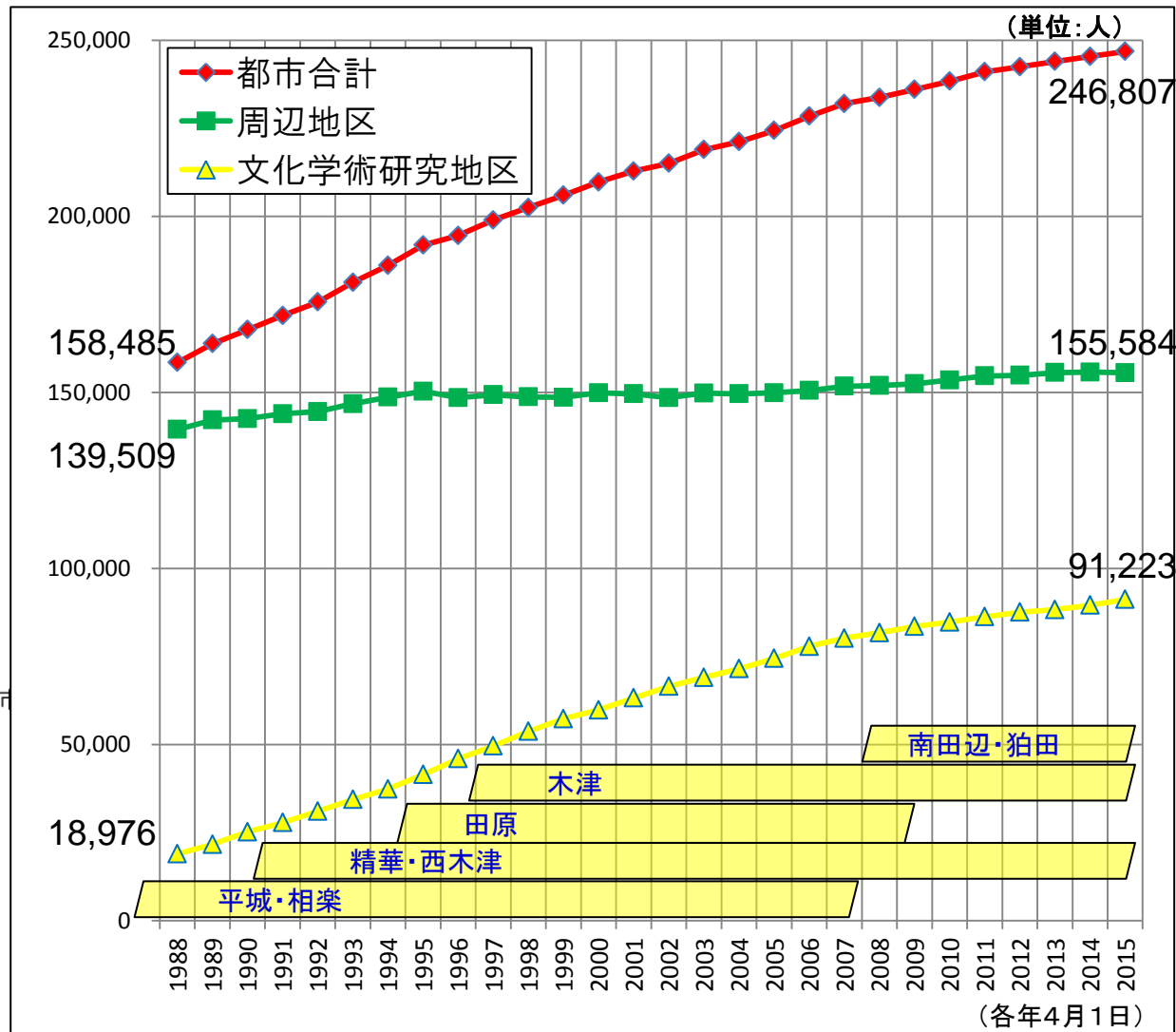
新たなステージにおける課題

- ～共有できるビジョンの構築～
- ◆ イノベーションの一層の推進
 - ◆ 都市形成の推進
 - ◆ 科学技術と住民生活・文化の融合
 - ◆ 「高度な都市運営」の仕組みの構築

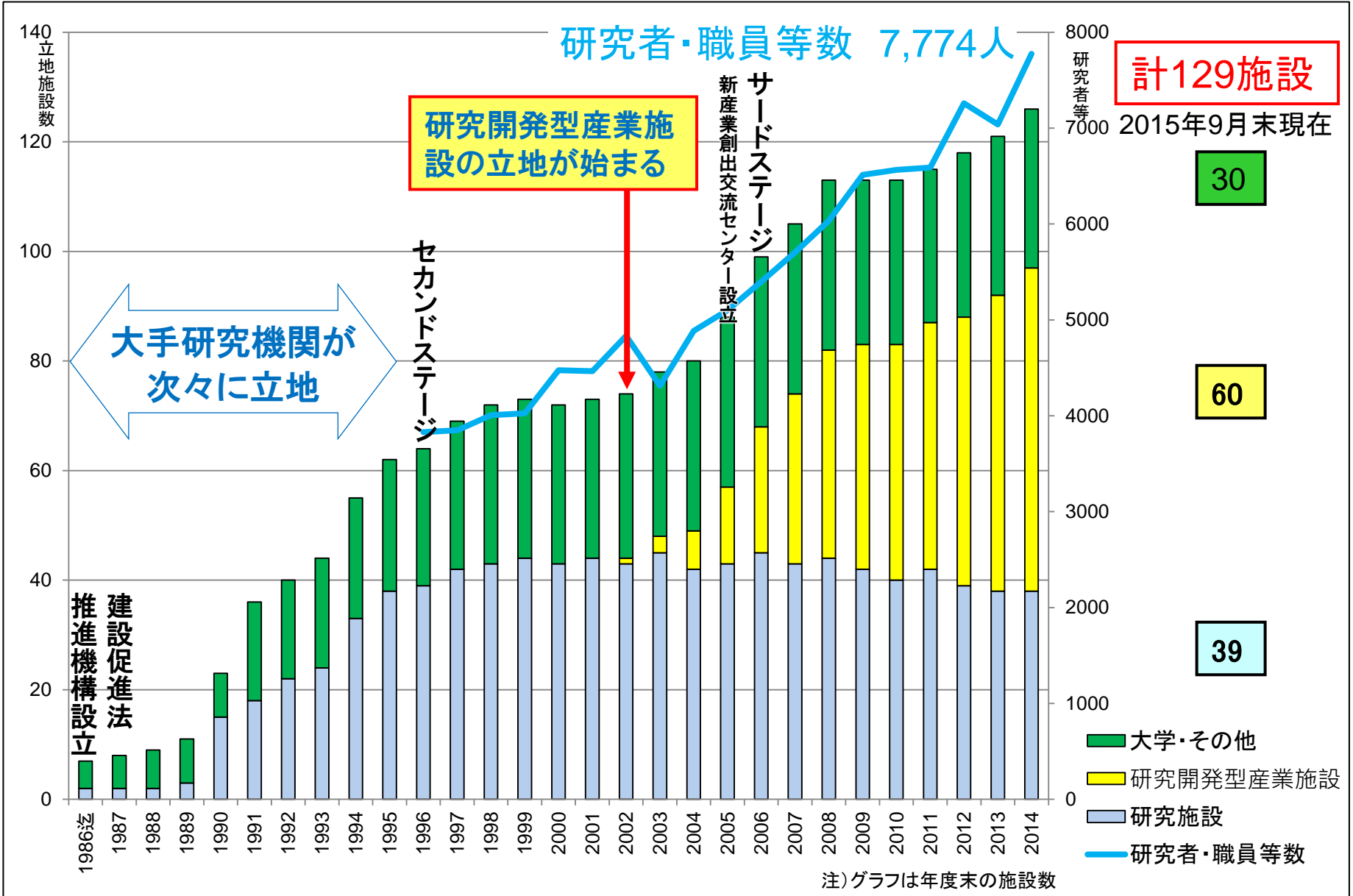
人口の推移

2015年4月1日現在

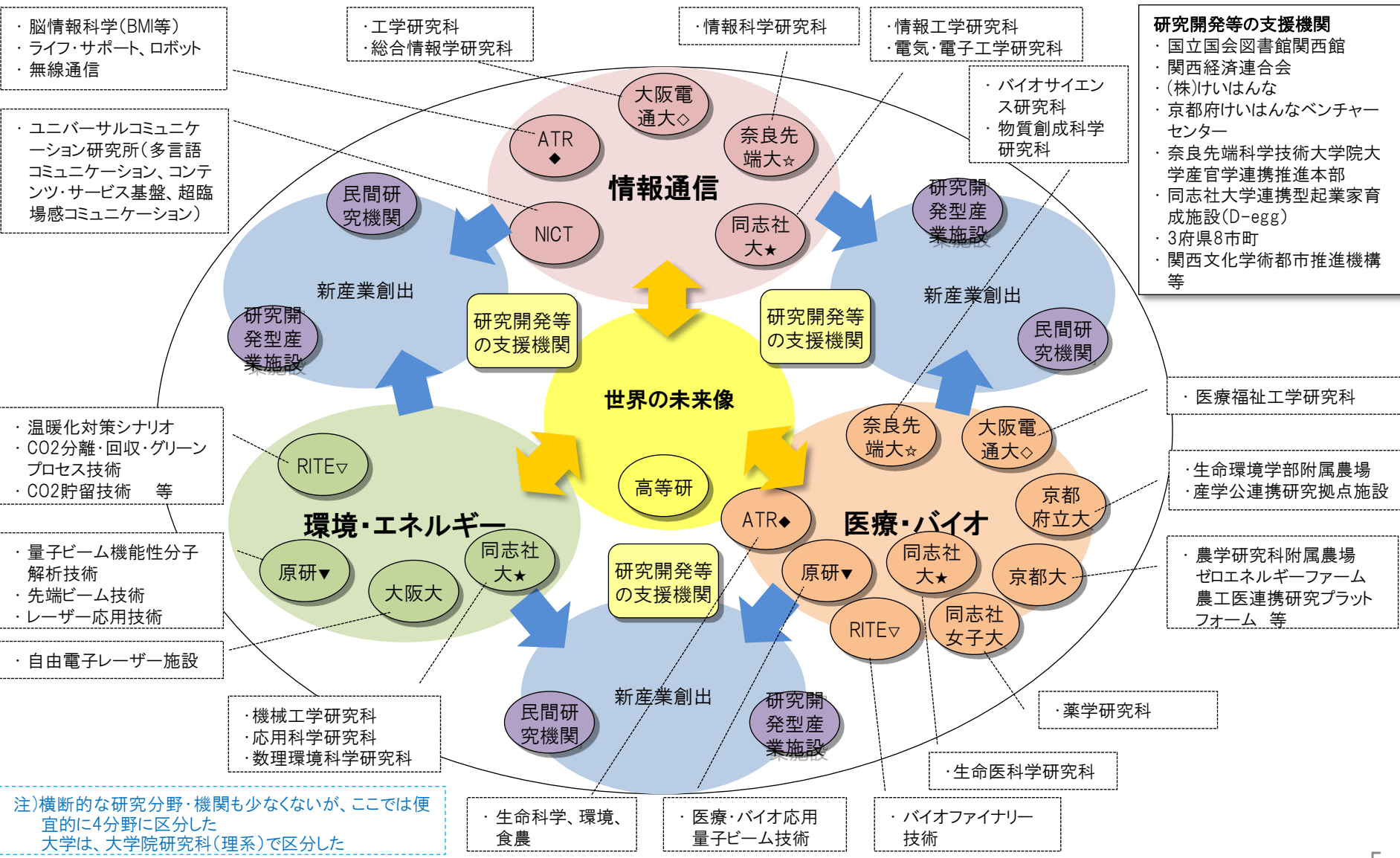
- 文化学術研究地区 91,223人
- 周辺地区 155,584人
- 都市合計 246,807人



立地施設数等の推移



多様な機能の集積



新たな都市創造のビジョン

文化学術研究都市としての役割

世界の未来への貢献

- 地球環境問題や食糧・エネルギー問題
- 健康長寿や幸福など豊かな生活像の実現
- 知とコミュニケーションの拡大
- 未来社会に向けた新たな課題を探求

知と文化の創造

- 未来社会に向け、科学や技術の展開を地域で受けとめ、安全安心、QOL、環境、文化など、新たな生活像の可能性を探り、生み出す



具現化を目指す都市の姿

①世界の知と産業を牽引する都市

- 世界の未来像を提示
- 科学技術イノベーションの創造拠点
- 「ナレッジ・リンク」の中核

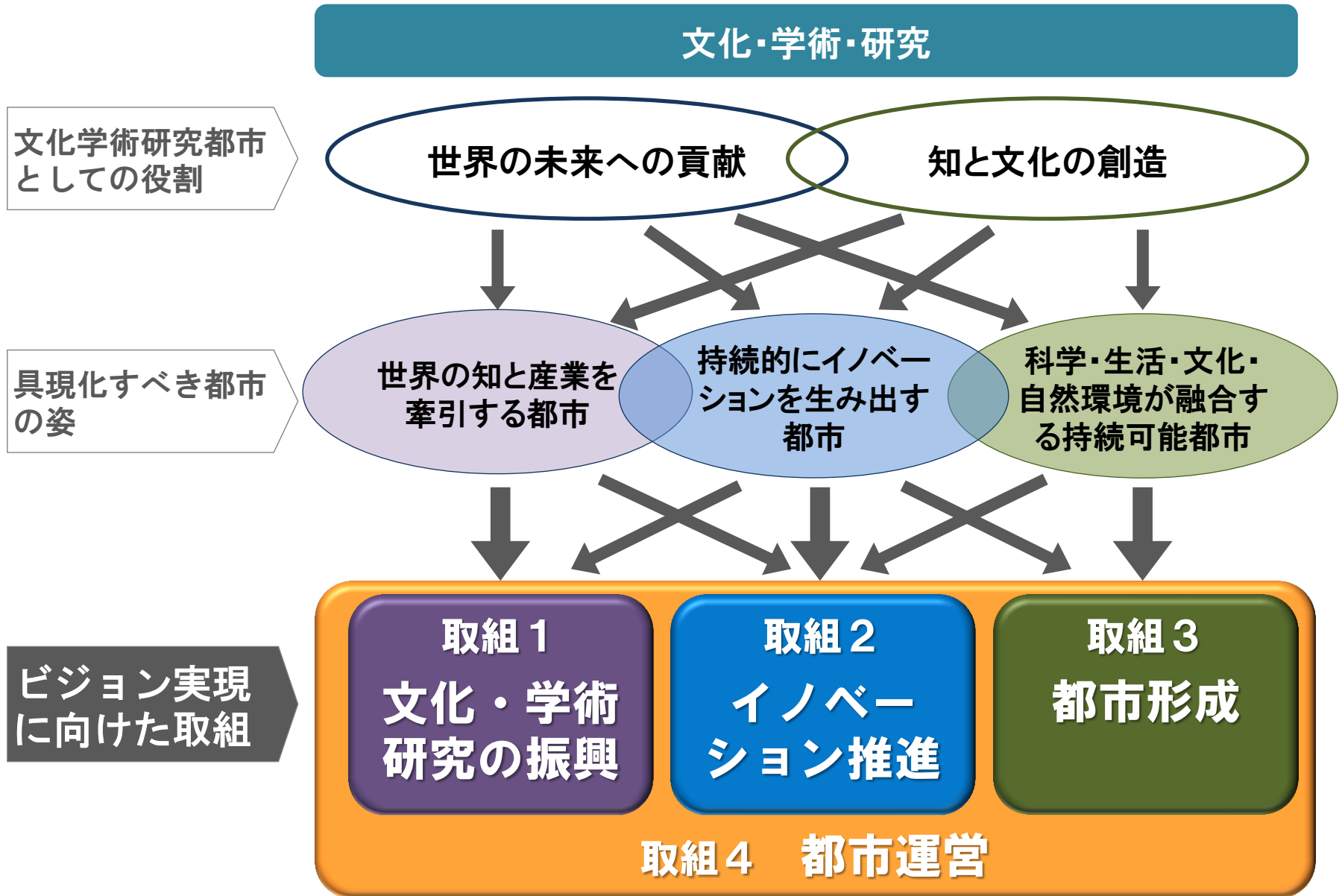
②持続的にイノベーションを生み出す都市

- 好循環を生み出す仕組み
- オープン・イノベーションとインキュベーションの仕組み
- 歴史・文化と結びついたイノベーション

③科学・生活・文化・自然環境が融合する持続可能都市

- 科学技術と生活・文化が融合した未来の社会を先導
- 持続可能な都市整備の仕組み
- 安全・安心で高質な都市環境
- 広域的なエリアマネジメントの仕組み

ビジョン実現に向けた取組



取組 2

イノベーション推進

- (1) イノベーション推進の中核となる仕組みの構築
- (2) 研究拠点等との連携
- (3) 世界への展開

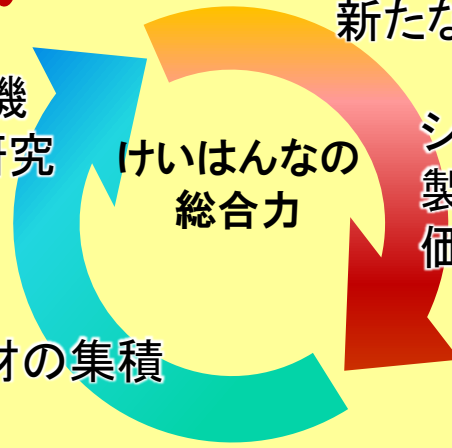
プラスのスパイラルの形成

- 革新的な研究開発の推進

大学や中核的研究機関等による優れた研究開発成果

- 未来を見据えた研究開発の芽の発見・育成
- トップクラスの交流
- 若手・中堅研究者間の交流

優れた人材の集積



新たな産業の創出

システム、サービス、製品など社会に新たな価値として還元

- 未来を見据えた構築力
- 横断的な組織力
- 対外的アピール力

(1)イノベーション推進の中核となる仕組みの構築

- オープンイノベーションを基軸とし、プロジェクトの創出と推進を一元的にサポートできる仕組の構築
- KICK等を活用したオープンイノベーションによるプロジェクトの推進
- 支援機関連携強化による中小・ベンチャーの共同開発促進
- 実証等への住民参加や特区活用等、本都市の優位性を活かした取組推進

(2)研究拠点等との連携

- 府県域を超えたイノベーション支援機関ネットワーク構築
- 国等の研究機関による本都市の研究機能の強化等
- 筑波研究学園都市等との連携による研究開発の支援強化
- 関西のサポートインダストリー機能との連携強化

(3)世界への展開

- 海外のサイエンスパークとの交流・連携促進と立地機関の海外展開支援
- 国内外の研究者が集い、活発な交流を促進する環境の整備
- 国際会議や学会等の誘致
- 海外の有力な教育・研究機関や企業の誘致推進

持続的にイノベーションを生み出す都市等 の実現に向けて

背景等

- 学研都市の科学技術を活用し、アイデアを生み出し実用化・産業化を維持する切れ目ないプロセスが必要
- 一つの技術に特化し新たな製品やサービス創出は困難
- 各々の強みを核にした交流、連携の仕組みが必要

学研の現状等

- 多様な機関が立地
- 先端的な研究開発等の推進
- 住民の実証事業への参画

- 各種研究会、交流会の活動等

包括的に支援するハブとなる仕組み、組織不在

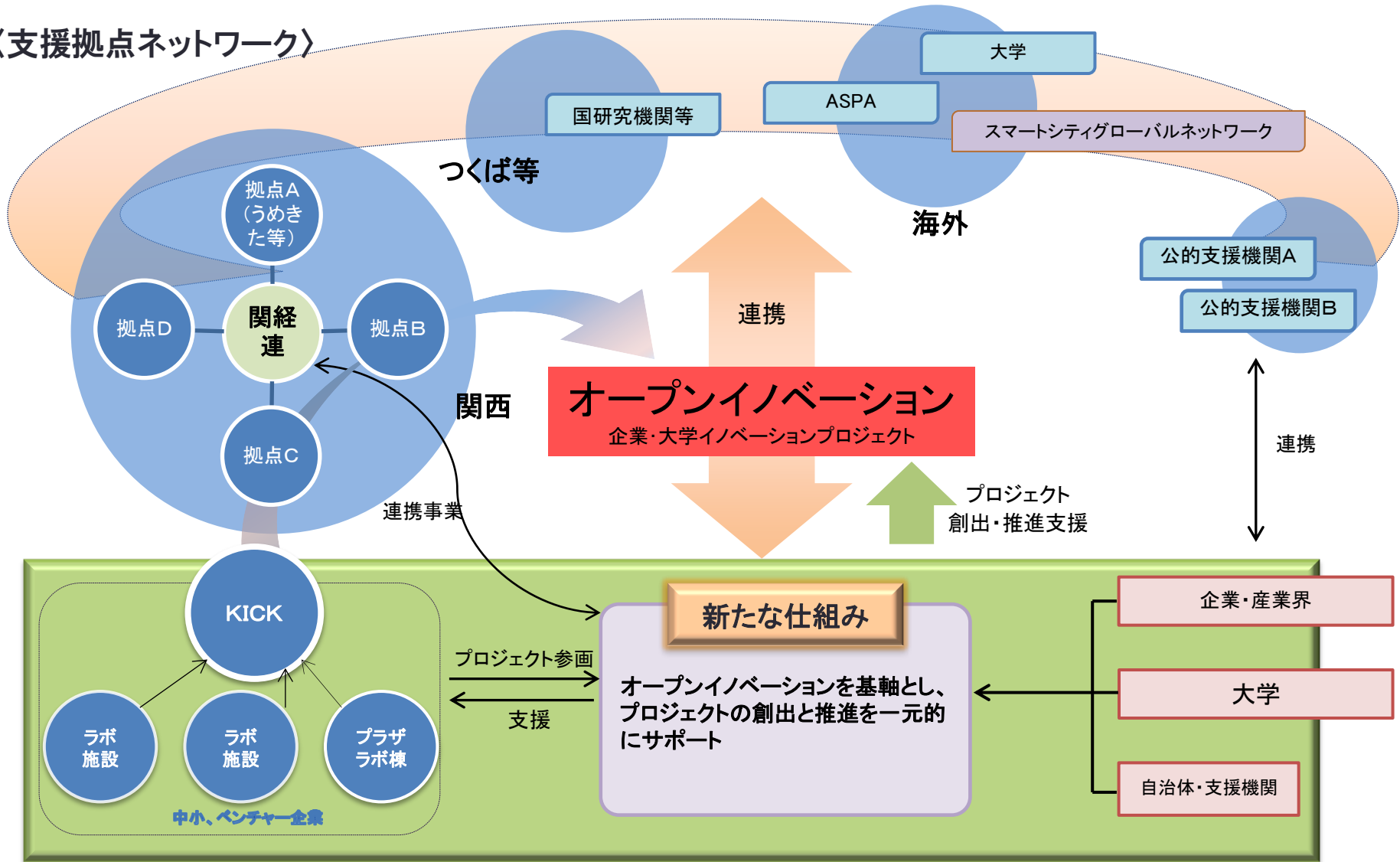
取組

新たな仕組み・組織づくり

取組み継続

イノベーション推進 研究拠点等との連携、世界への展開

〈支援拠点ネットワーク〉



けいはんな学研都市

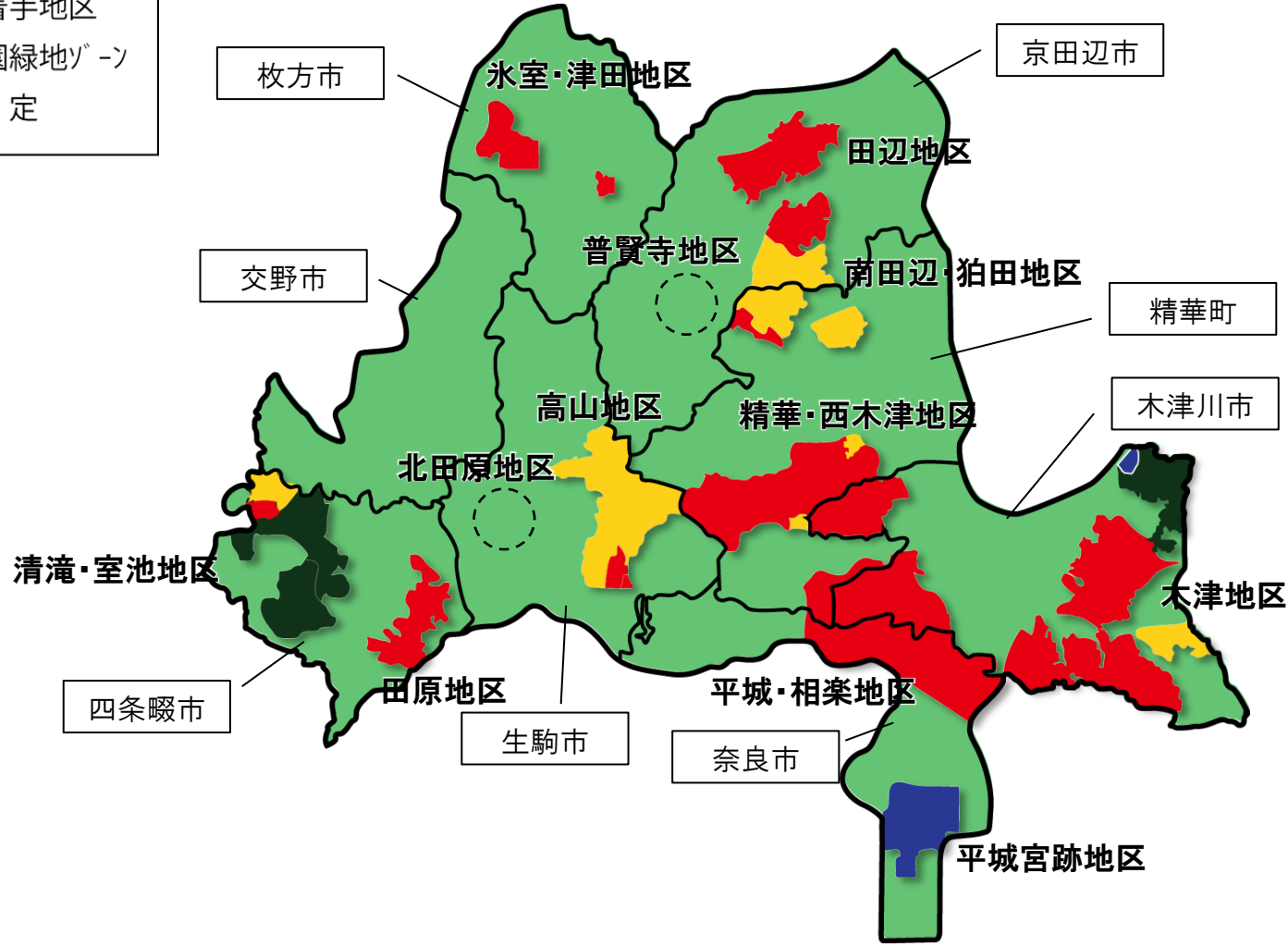
取組 3

都市形成

- (1) 世界に先駆けスマートな暮らしを育むまちづくり
- (2) 世界に誇る歴史や文化、自然の息づくまちづくり
- (3) 都市の多様性を高める土地利用の推進
- (4) 国内外の対流を促進する都市モビリティの向上

都市形成 クラスター型開発による持続的な進展

- 事業完了地区
- 事業中地区
- 未着手地区
- 公園緑地ゾーン
- 未定

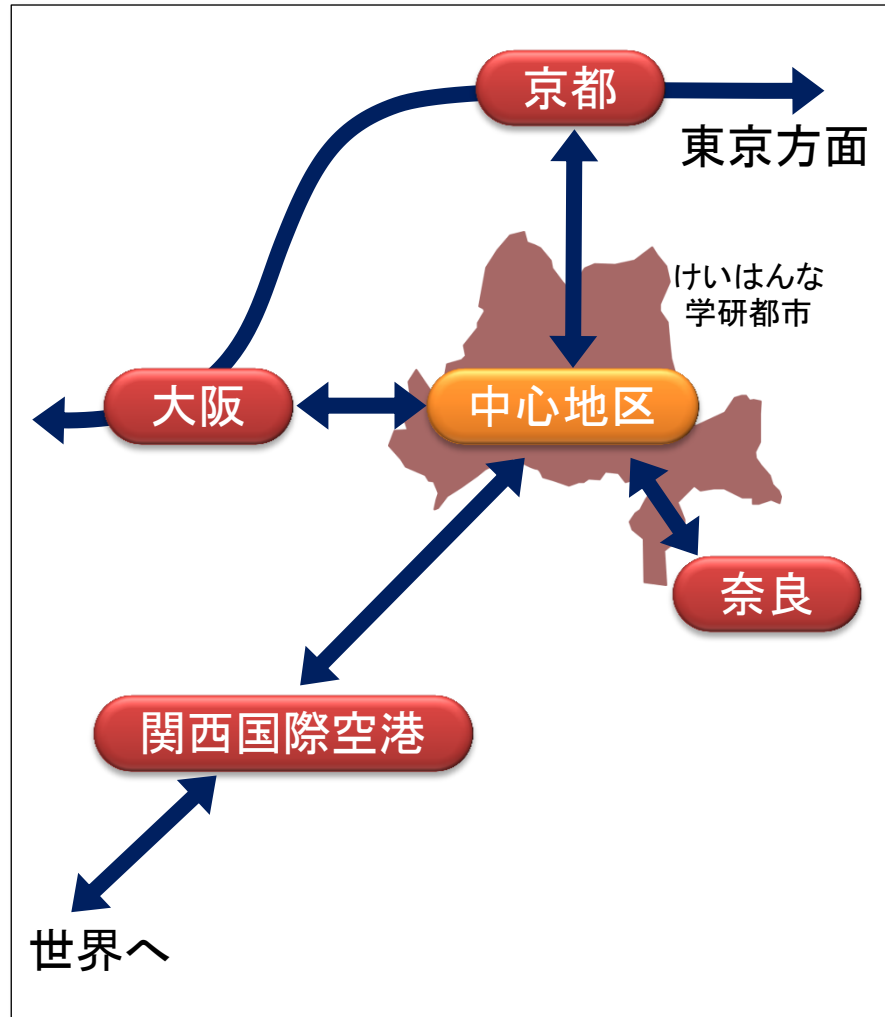


モビリティの向上

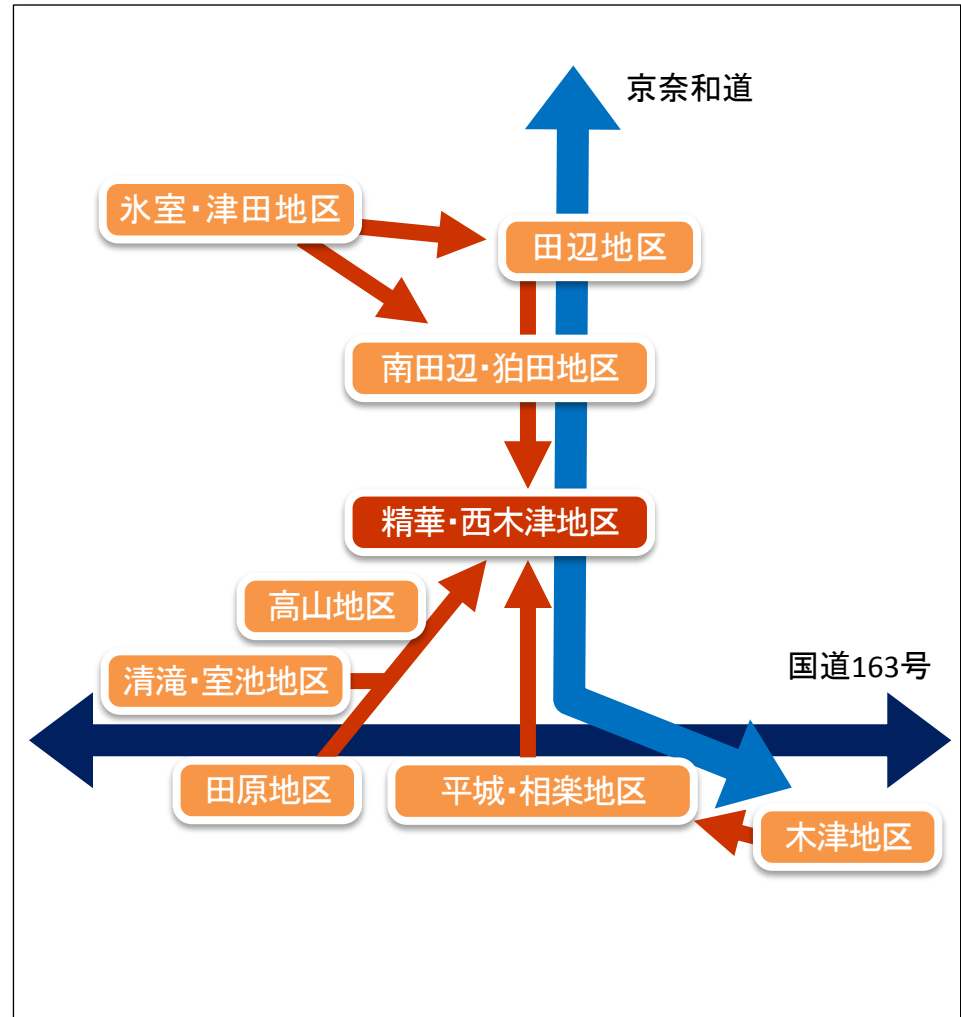
- 鉄道網や圏域内外の道路網の整備
- けいはんな学研都市ならではの多様な交通サービス等の提供

都市形成 アクセス強化の方向

中心地区と母都市及び関空との アクセス強化の方向



中心地区と各クラスターとの 道路網イメージ

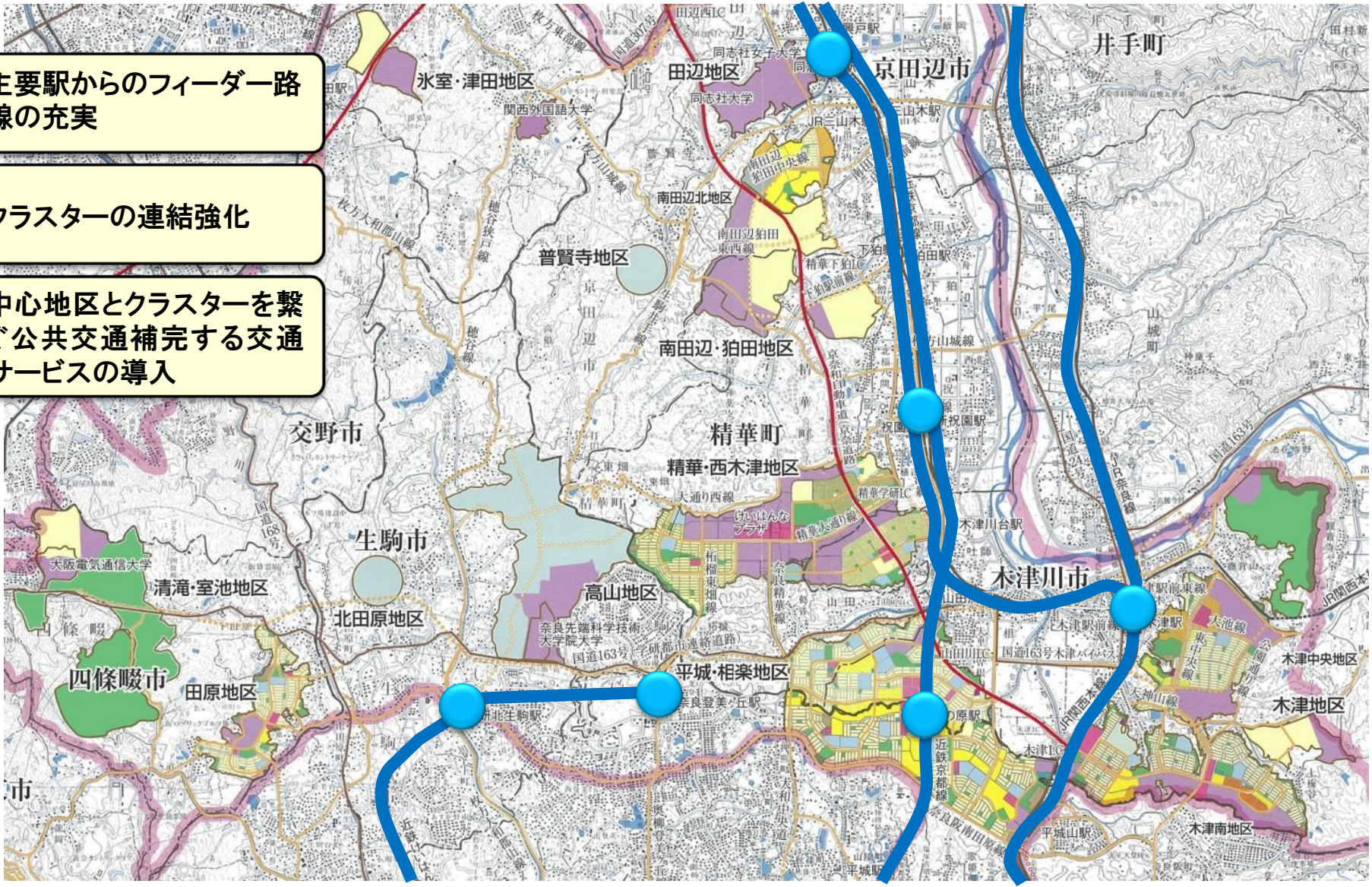


域内交通の強化

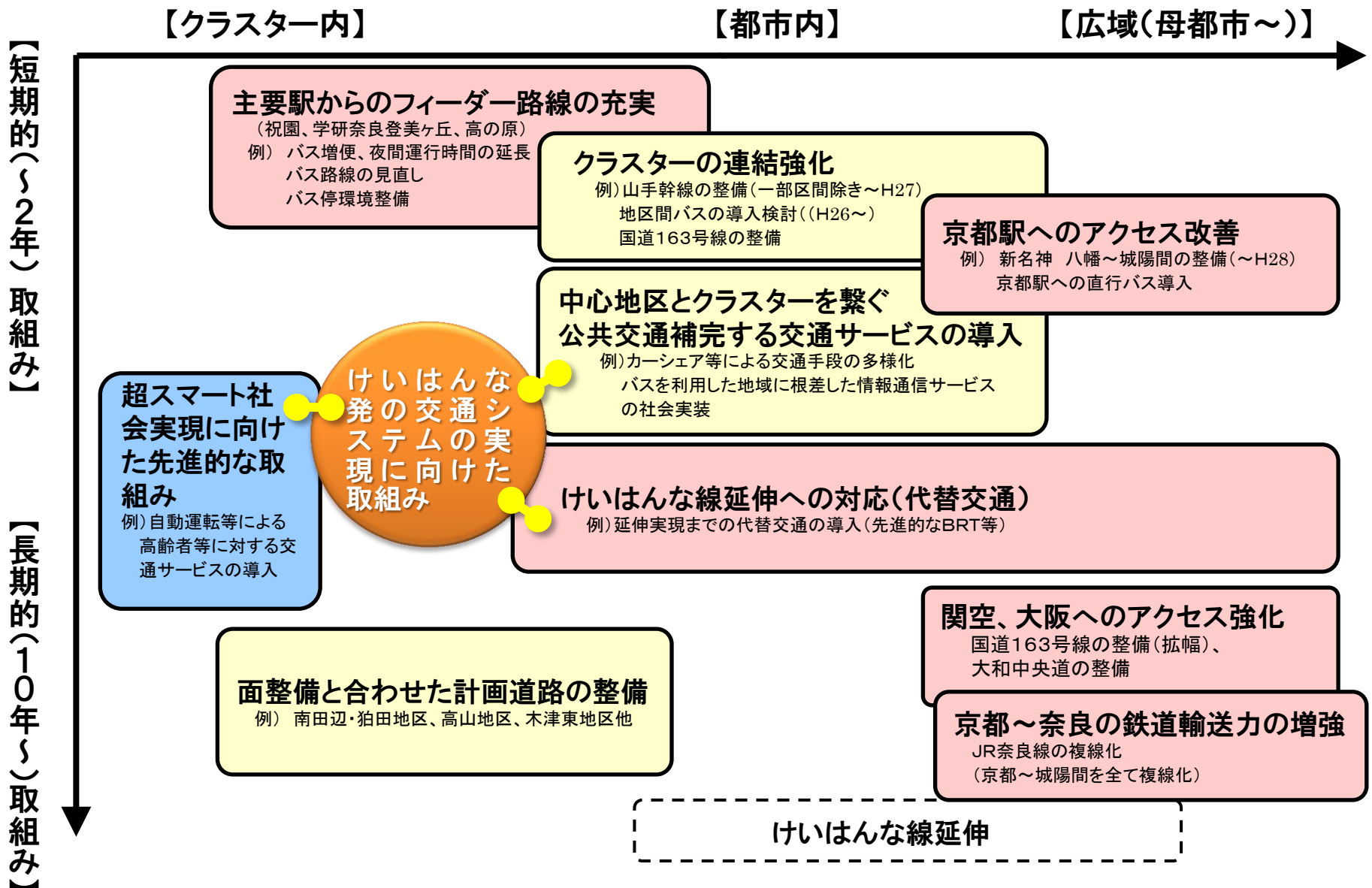
主要駅からのフィーダー路線の充実

クラスターの連結強化

中心地区とクラスターを繋ぐ公共交通補完する交通サービスの導入



都市形成 モビリティ向上に関する今後の主な取組イメージ



これまで

「エコ」や「健康」に関する先進的な取組が進展

- 次世代エネルギー・社会システム実証プロジェクト
- けいはんなエコシティ推進会議の活動
- 地域イノベーション戦略支援プログラム（ヘルスケア）等

実証事業の受け入れなどを通じて、住民のなかに未来のライフスタイルへの指向が形成

今後

持続可能なまちづくりに向け、新たなライフスタイルを地域社会に実装し育む

ICTを活用し生活の質を高める暮らしの推進

- 環境・エネルギー分野
- 交通システムも含めた幅広いインフラ
- 健康、食、農業、文化、教育などすそ野の広い産業分野
- 快適な都市環境形成 等

文化学術・科学に関する教育、学習プログラム等の推進

- 体験型の科学学習
- 文化学術研究に関する各種イベント
- 研究機関と学校教育機関との連携による科学教育の支援等

都市形成 京都府における取組事例

けいはんな学研都市におけるスマートシティのイメージ



戦略的な国際連携の促進
(スマートシティエキスポの継続開催)



『エコ』をけいはんな学研都市の文化に

里山保全

コントロールセンター (CEMS)

スマートハウス (HEMS)

エネルギー消費の「見える化」「最適化」

- スマートメーター
- 燃料電池
- ヒートポンプ
- 蓄電池
- LED照明

エネルギー自給・けいはんなの早期実現

まちぐるみのエコエネ戦略展開

住民主体の省エネ行動促進施策の展開

メガソーラー

再生エネ分散型電源普及促進

スマートビル (BEMS)

- 太陽光発電
- 屋上緑化
- LSD照明
- 蓄電池

立地機関、施設のスマート化推進

- 省エネルギーシステムマネジメントシステム導入支援
- スマート化に対する認証制度創設

ICTを活用した健康づくり支援

屋内でも

- 記録蓄積
- 健康診断
- 健康状態の把握

屋外でも

- GPS
- ウェアラブルデバイス
- 健康支援

クラウドコンピューティング
Personal Health Record
健康状態の把握
疾病の早期発見
病状の把握と改善
健康サービスにも活用

住民への情報発信

けいはんなe2未来スクエアの活用

オープンイノベーションセンター

スマートコミュニティ形成に係る共同研究等の推進

農ある暮らし



モーダルシフトの促進

BRT

EVシェアリング

電動アシスト自転車シェアリング

マイクロEV導入促進

ショッピングセンター

駅

食を通じた健康の増進

植物工場で栽培した高機能性野菜によるヘルスケアの推進

国内外への情報発信

- 国際イベントの実施
- 見学ツアーの開催

ビジネスモデル構築支援

企業が必要とする情報に迅速かつワンストップでアクセスできるスマート(インフォメーション)

ICT基盤を活用したスマート、スリムでかつ快適なライフスタイルの確立

戦略的な産業創出基盤構築

(2)世界に誇る歴史や文化、自然の息づくまちづくり

- 日本古来の歴史、文化を身近に感じられる暮らし
- 圏域一帯の豊かな自然環境を活かした活動の推進

(3)都市の多様性を高める土地利用の推進

- 生産施設等の導入検討など多様な施設の立地推進と機能連携
- 基盤整備未着手地区の整備等推進

未来に向けた
都市と生活の
あり方

(1)世界に先駆け
スマートな暮らし
を育むまちづくり

- ICTを活用し生活の質を高める暮らしの推進
- 文化学術・科学に関する教育、学習プログラム等の推進

(2)世界に誇る歴
史や文化、自然の
息づくまちづくり

- 日本古来の歴史、文化を身近に感じられる暮らし
- 圏域一帯の豊かな自然環境を活かした活動の推進

(3)都市の多様性
を高める土地利
用の推進

- 多様な施設の立地推進と機能連携
- 基盤整備未着手地区の整備等推進

持続的な
都市づくり

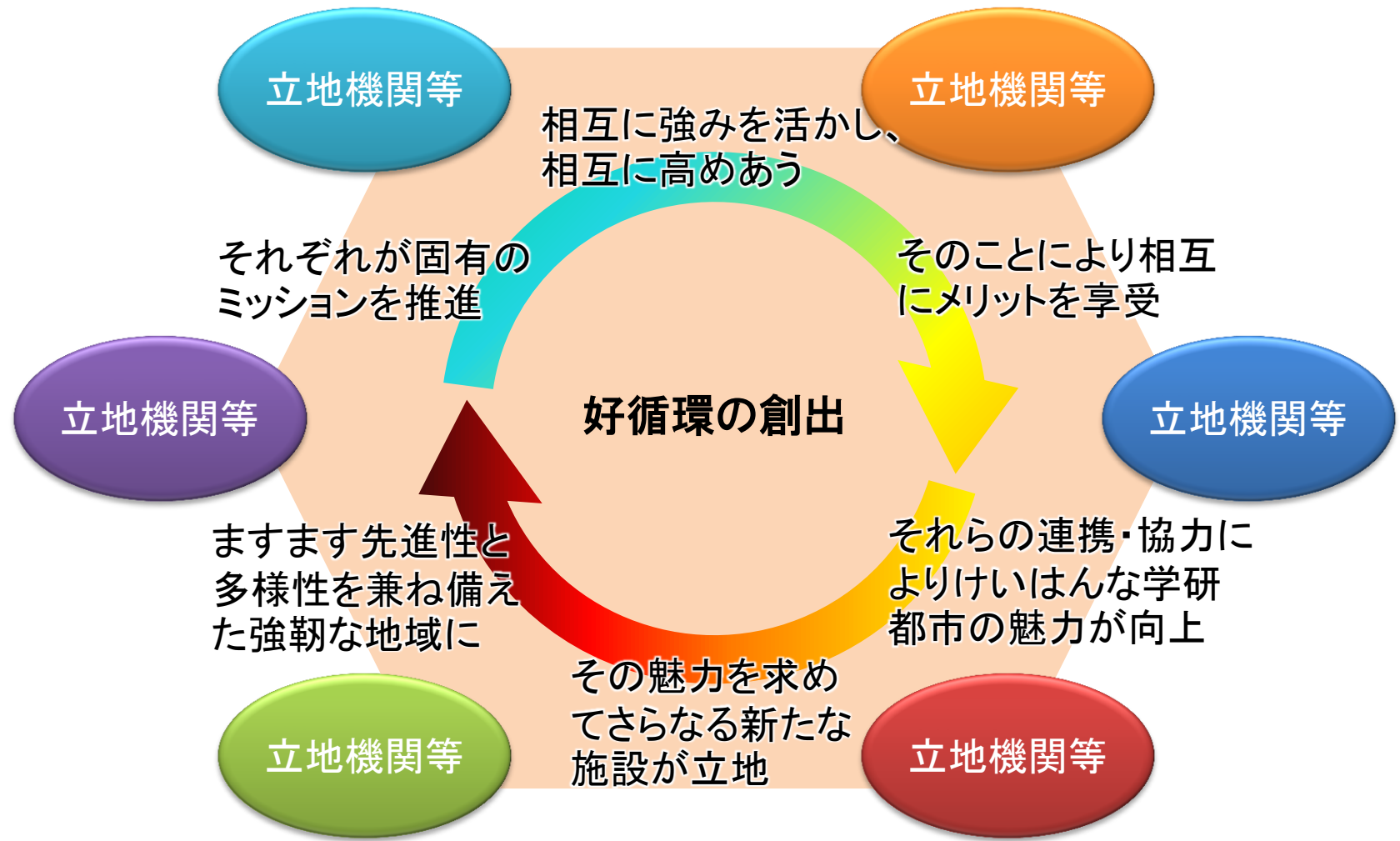
(4)国内外の対流
を促進する都市モ
ビリティの向上

- 国土軸、関空、母都市とのアクセス強化
- 中心地区とクラスター、クラスター相互のネットワーク強化
- 多様な交通サービス、システムの導入検討

取組 4 都市運営

取組4 都市運営の考え方等

都市運営のミッション それぞれのミッションに基づき活動している立地機関等が、
①本都市に立地し居住するメリットを相互に享受
②相乗効果による総合力の向上
により取組を推進するための最適な運営形態(=高度な都市運営)



都市運営 都市運営体制の概念図

都市運営体制の概念図(例示)

(名称は全て仮称)

